

## ⑫ 公開特許公報(A) 平4-141004

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月14日

A 01 C 1/04  
1/00  
B 44 C 5/06A 9123-2B  
B 9123-2B  
B 6578-3K

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全3頁)

⑮ 発明の名称 種子成育法とそのための成育具

⑯ 特 願 平2-243614

⑰ 出 願 平2(1990)9月13日

⑱ 発 明 者 塩 井 一 浩 東京都文京区目白台3丁目22番16号  
 ⑲ 出 願 人 塩 井 一 浩 東京都文京区目白台3丁目22番16号  
 ⑳ 代 理 人 弁理士 桑原 英明

## 明 細 書

1. 発明の名称 種子成育法とそのための成育具

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 吸水性のベース上に文字を含む図形をバイオ液にて描くこと、バイオ液にて描かれた図形上に種子を蒔くこと、ベースに水液を補給しながら種子を発芽させることよりなる種子成育法。
- (2) 吸水性のベース上に文字を含む図形を切抜いた型紙を配すること、水液を含んだベース上に型紙の切抜き部を介して種子を蒔くこと、種子がベース上に根付いた前後に型紙を取ること、ベース上に水液を補給しながら種子を発芽させることよりなる種子成育法。
- (3) 水液を入れた箱状体内にベースを配して種子を発芽させ、発芽した緑の図を有するベースを装飾として用いる請求項(1)又は(2)の種子成育法。
- (4) ベースへの水液補給を停止し、ベースを下向きとさせて発芽した部分を乾燥させる請求項(1)又は(2)の種子成育法。

(5) バイオ液が、水、着色剤及び／又は肥料分を含む請求項(1)又は(2)の種子成育法。

(6) 水液がケイ酸、バナジウム、苦土、ほう素、鉄、銅、亜鉛、モリブデンの一種又は二種以上を有効成分とする請求項(5)の種子成育法。

(7) 箱状体、不織布のベース、バイオ液、筆記具よりなる種子成育具。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本発明は、文字を含む図形の形で種子を成育する方法とそのための成育具に関する。

## (従来の技術)

人間生活をより快適にさせるために植物は欠かせないものになっており、家庭にあっても各種の植物を栽培する人が多い。一方、アートを求める心も人間に与えられた特技の一つであるが、このアートを求める心と植物を栽培する心とを結合させる試みが成される。その例の一つが、アオキやツツジ或いはサツキによる文字や動物の形を作ることにある。この例は、屋外であって、しかも、

人の目につき易い広い場所にアオキやツツジ或いはサツキを植え、これを何年にも亘って、枝や葉を剪定することで、文字を含む図形を作り出している。

(本発明が解決しようとする課題)

このように植物を慈しむ心とアートを求める心との従来の結合は、広大な敷地に、灌木を植え付け何年もかかって、しかも、多くの人の手を必要とするものであって、多くの人が家庭や職場で手軽に楽しめるものではない。

それ故に、本発明は、前述した従来技術の不具合を解消させ、誰もが自由に、好きな図形を植物で楽しめるようにすることを解決すべき課題とする。

(課題を解決するための手段)

本発明は、前述した課題を解決するために、吸水性のベース上に文字を含む図形をバイオ液にて描くこと、バイオ液にて描かれた図形上に種子を蒔くこと、ベースに水液を補給しながら種子を発芽させることよりなる種子成育法を提供する。

バイオ液は、水、着色剤および／又は肥料分を含んだもので、バイオ液中に筆をひたし、これで、所望の文字を含む図形2をベース1上に描く。図示例は、山2という字を書いたが、好みのデザインや他の字を自由に選択できる。描いた図形2が乾く前に図形2上にチモシーの種を蒔く。できる限り、種子は均一に密度高く蒔き、図形2部分以外の種子払い落すか振るい落す。

ボックス3内に、ケイ酸、バナジウム、苦土、ほう素、鉄、銅、亜鉛、モリブデンの一種又は二種以上を有効成分とする水液を入れ、この内にベース1を静かに置く。ベース1が乾かないように水液を補給しながら種子を発芽させる。

チモシーの種の場合、3日位で芽がうっすらとでてきて、10日程で丈0.5～2cmの緑色の図形4を作る。緑の図形4が得られたら、ベース1をボックス3から取出し、ベースを静かに水洗いして、これを額に入れて飾る。額内のベース1への水液補給はスプレーでするのがよい。図形4の丈をそろえるには、ハサミでカットすればよい。

さらに、本発明は、吸水性のベース上に文字を含む図形を切抜いた型紙を配すること、水液を含んだベース上に型紙の切抜き部を介して種子を蒔くこと、種子がベース上に根付いた前後に型紙を取ること、ベース上に水液を補給しながら種子を発芽させることよりなる種子成育法を提供する。

又、本発明は、箱状体、不織布のベース、バイオ液、筆記具よりなる種子成育具を提供する。

(作用)

バイオ液で描かれた図形に沿って蒔れた種子は、給水により、やがて発芽し、所望の形の緑の図形となる。緑の図形を育てたベースを額に入れ、屋内の壁に掛けて絵画と同じようにして、これを楽しむ。

ドライにして、永久保存を欲する時は、給水を断ちベースを下向きとさせて発芽した植物を乾燥させドライ図形とする。

(実施例)

不織布のような吸水性のベース1に、筆等の筆記具を用いて、文字2や図を、バイオ液で書く、

筆で図形を描く以外に、型紙に好みの文字を含む図形を切抜き、この型紙をベース1の上におき、バイオ液又は水液を切抜き部に吹付け、乾く前に、この切抜き部に種を蒔くこともできる。水液の吹付けに代えて、予めベースを水で濡らしておいてもよい。種子がベース1に根付いたら型紙をベースから外せばよい。

緑の図形4を楽しんだ後、これをドライにしておくには、額のまま、ベース1を下向きとさせ、風通しの良い処に置き、水を断ち、緑の部分をドライにする。

(効果)

本発明によれば、不織布の如きベース上に、好みの図形を緑にして、手軽に楽しむことができるので、植物と芸術との結合を家庭や職場で、個人として行うことを可能にする。

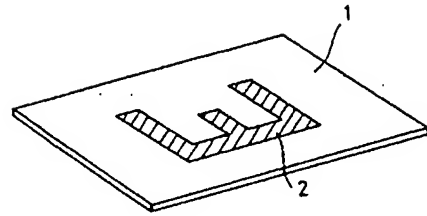
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はベース上の図形を示す図、第2図はボックス内で種子を発芽させた図である。

図中： 1.....ベース、 2.....図形、 3.....ボックス。  
ス。

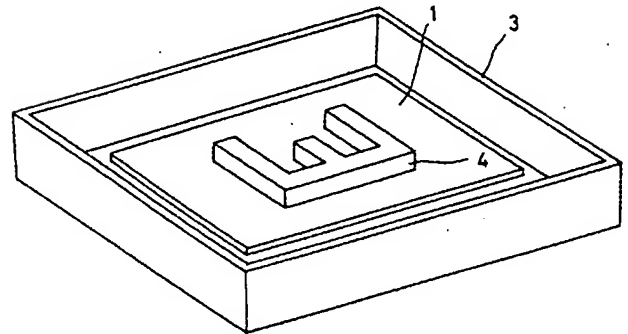
第 1 図

図面の浄書



代理人 弁理士 桑 原 英 明

第 2 図



(指令) 手続補正書

平成 2 年 1 2 月 11 日

特許庁長官 植 松 敏 殿

1. 事件の表示

平成 2 年特許願第 2 4 3 6 1 4 号

2. 発明の名称

種子成育法とそのための成育具

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 東京都文京区目白台 3 丁目 2 2 番 1 6 号

氏名 塩 井 一 浩

4. 代理人 ㊟105

住所 東京都港区西新橋 3 丁目 1 5 番 8 号

西新橋中央ビル

電話 (03) 4 3 7 - 2 5 6 0

氏名 (7051) 弁理士 桑 原 英 明

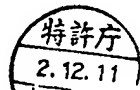
5. 補正命令の日付 平成 2 年 1 1 月 1 3 日

発送日 (同年 1 1 月 2 7 日)

6. 補正の対象 図面

7. 補正の内容 鮮明に描いた図面 (全図) を提出します。

尚、委任状は平成 2 年 1 0 月 1 2 日付手続補正書にて提出済です。



PAT-NO: JP404141004A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04141004 A  
TITLE: GROWING OF SEED AND GROWING TOOL THEREFOR  
PUBN-DATE: May 14, 1992

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
SHIOI, KAZUHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
SHIOI KAZUHIRO N/A

APPL-NO: JP02243614

APPL-DATE: September 13, 1990

INT-CL (IPC): A01C001/04, A01C001/00 , B44C005/06

US-CL-CURRENT: 47/56

ABSTRACT:

PURPOSE: To freely amuse a desired figure with plants by drawing a figure on a water-absorptive base with a biotic solution, attaching seeds on the figure, supplying an aqueous solution to the base and germinating the seeds.

CONSTITUTION: A figure is drawn on a water-absorptive base 1 such as nonwoven fabric with a biotic solution containing water, colorant and fertilizing component and seeds are uniformly and densely sowed before drying. Next, the base is received in a box 3 and impregnated with an aqueous solution containing components such as silicic acid, magnesia, iron and zinc, then the seeds are germinated to afford a figure 4 preferably having 0.5-2cm height.